

# 岩手・1988

1993年世界アルペンスキー開催地決定や異常気象災害など、明暗大揺れとなった1988年が足早に暮れようとしています。

今回は恒例となっている「県勢ビッグテン」と県政の主な出来事を中心に掲載しました。

国内はもとより世界の大きな潮流の中に郷土岩手が動いているのです。1年を振り返りながら、新しい歴史のページを開いていきたいものです。

## 1

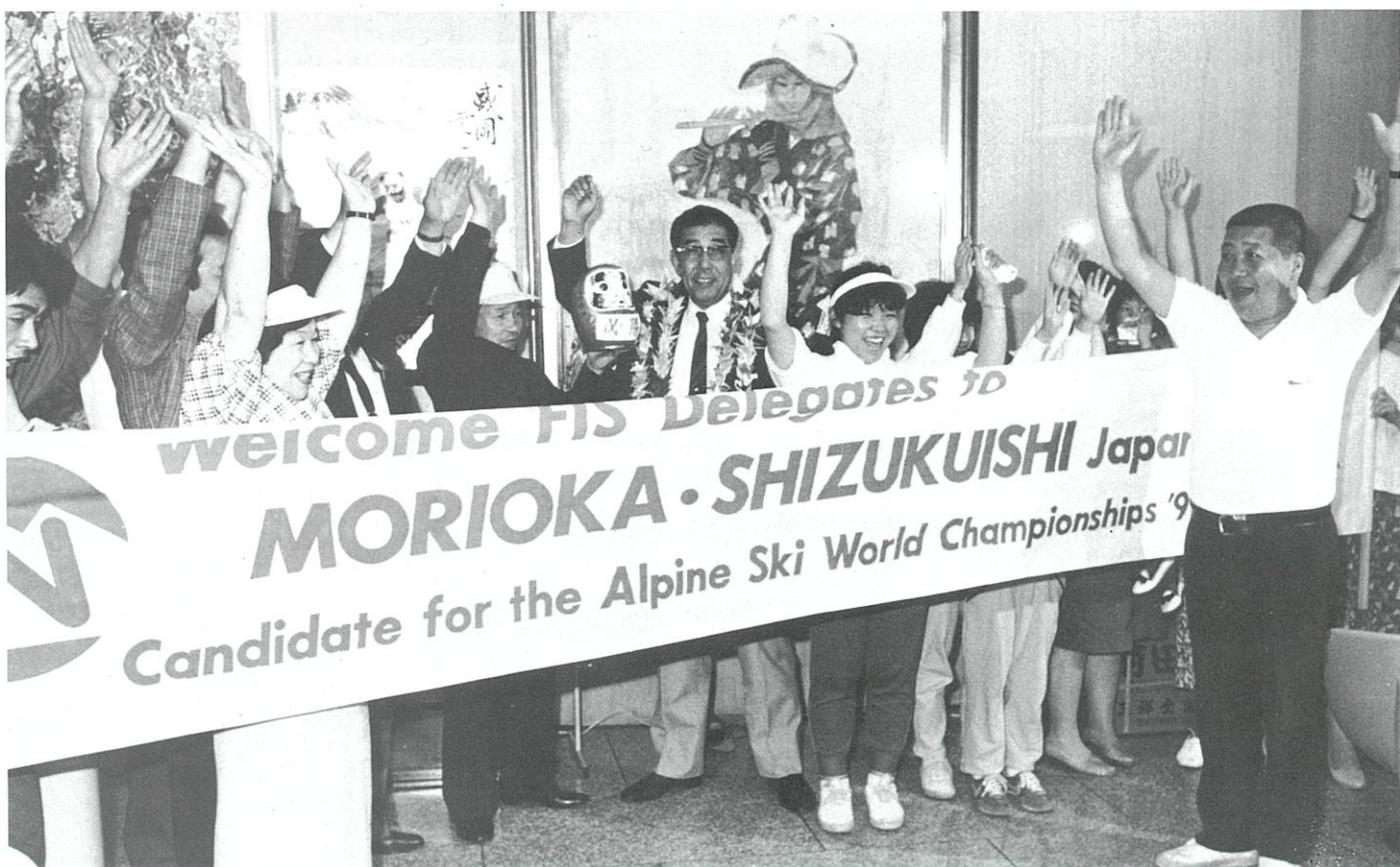
アジア初のアルペンスキー世界選手権大会が1993年・「盛岡・雫石」に決定。第8回国民文化祭開催決まる。活かせ岩手あしる国体の成果をビッグイベントに

第43回国体冬季大会スキー競技会が、安代町で2月23日に開幕。冬季国体史上初めて全都道府県が参加し、大成功を収めた。本県選手団も大健闘、総合5位に躍進した。

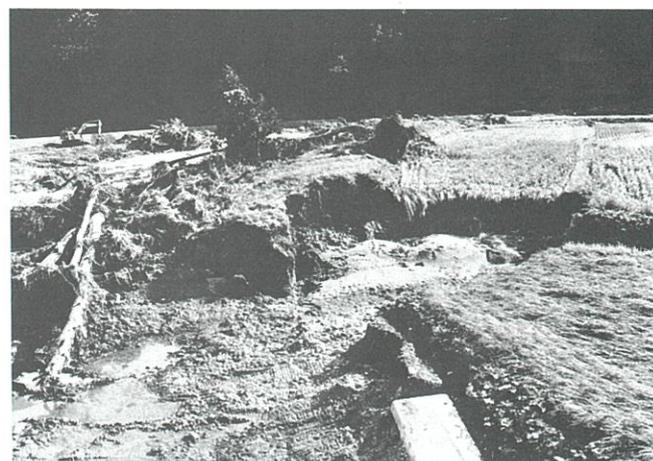
「文化の国体」といわれる国民文化祭の68年度（1993年）開催が内定したのは4月11日。

「1998年冬季オリンピックを盛岡で、と積極的な運動を進めてきた冬季オリンピックの国内候補地には、6月1日に開かれた日本オリンピック委員会の臨時総会で長野市が決まり残念な結果となった。しかし、11日イスタンブール（トルコ）での国際スキー連盟（FIS）総会で、1993年アルペンスキー世界選手権の開催地に「盛岡・雫石」が決定した。

明暗を分けたイベント誘致だったが、盛り上がった県民の熱意を1993年のビッグイベントに向け、さらに輪を広げていきたい。



▲開催地決定を喜ぶ雫石町の皆さん



▲大雨洪水の被災地・金ケ崎町川目地区

## 2

集中豪雨、異常低温が県土を襲い650億円を越す被害。災害復旧と農作物被害対策に全力。厳しい農業情勢のなか、西根町農協野菜部会が天皇杯を受賞、いわて農業に大きな励み

春以降の低温と日照不足が農作物に大きな影響を与えた。10月15日現在の水稲作況は「87」で著しい不良となるなど、農作物被害額は301億2,780万円（11月20日現在）。

8月28日本県を襲った大雨洪水は、被害総額350億6,600万円を越え、56年8月23日の台風15号で記録した935億円に次ぐ大災害となった。最も被害を受けたのは、金ケ崎町133億2,200万円。次いで胆沢町34億3,600万円などとなっている。

これらの災害対策として、農林水産省は天災融資法、激甚災害法を11月22日に発動した。県では、災害関連事業費82億5,560万円を補正予算に計上し、復旧に向けて対策を展開している。

厳しい状況の中で、明るい話題もあった。11月23日第27回農林水産祭園芸部門で西根町農協野菜部会が天皇杯を受賞。雨よけほつれんそうの産地化に取り組んだ成果が、日本一の評価を受けた。

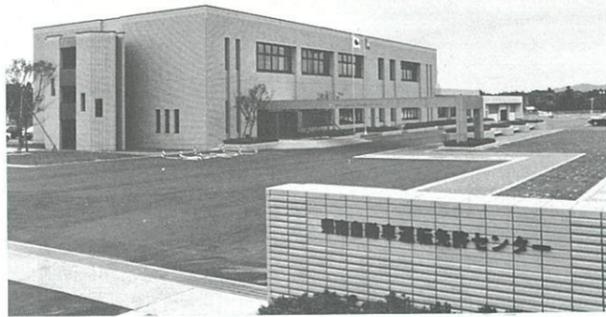
# 3

## 新県立短大の設置、ポニースクール岩手、自動車運転免許センター整備などを盛り込んだ新岩手総合発展計画・後期実施計画を展開

2月25日新岩手県総合発展計画の後期実施計画を発表した。63年度から65年度までの3カ年計画で、新岩手県総合発展計画の仕上げに向けて実施される事業を計画しているもの。計画では27新規重点事業を盛り込んでおり、事業費は1兆1,806億円。前期実施計画と合わせた総事業費は、2兆4,477億円となった。

主な新規事業では、新しい県立短期大学設置がある。65年度開校を予定しているもので、宮古市への設置が、7月15日短期大学整備懇談会の報告を受けて正式に決まった。

6月27日着工したポニースクール岩手の整備は、岩手産業文化センター（滝沢村）の隣接地に建設が進められている。7月21日には運営主体となる「社団法人ポニースクール岩手」を設立、来春4月のオープンを予定している。また、金ケ崎町に県南自動車運転免許センターの整備を進めている。



▲金ケ崎町にオープンした県南自動車運転免許センター

# 4

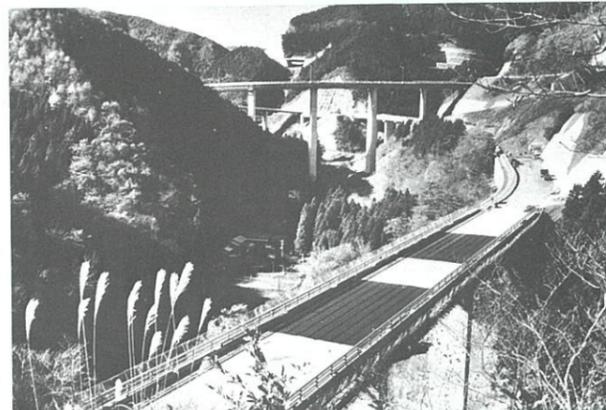
## 東北横断自動車道秋田線ルート決定、県単高速関連道路整備全区で着手、花巻～大坂間のジェット便増便など交通網の充実に拍車

高速交通網の整備が急ピッチで進んでいる。東北縦貫自動車道八戸線安代～戸間と県単高速交通関連道路整備事業で進めている県内初のループ橋（一関ルート坂下工区）が、64年秋の開通を目指している。

10月3日東北横断自動車道秋田線と質～湯田ルートが発表された。また、三陸縦貫自動車道三陸トンネル（2,208m）が11月19日に貫通した。

東北、北陸、九州・鹿児島ルートの整備新幹線建設問題は、8月31日に開かれた整備新幹線建設促進検討委員会で着工順位が決定。「盛岡～青森」は第3順位となった。

花巻～大坂間を結ぶジェット便が増便された。12月25日から毎日1往復のジェット便が飛び。



▲64年秋の開通に向け工事が進む一関ルート

# 5

## 全国初の長寿社会振興財団スタート。医療・生活サービスを提供する初の老人保健施設、県立病院の整備など県民福祉・医療の対応充実

“高齢化社会を活力とするおおいに満ちた社会に、を目指す全国初の長寿社会振興財団が、5月16日にスタートした。財団では高齢者総合相談センター（シルバー110番）の業務を7月1日から開始。県民長寿体育祭や健康、福祉セミナーなどの活動を展開している。

県内初の老人保健施設が盛岡市（老人保健施設・アルデンハイム 青山・89床）と東山町（西城病院付属老人保健施設さいき・50床）に12月1日オープンした。

また、高齢化に対応して、県立病院施設整備が進んでいる。6月21日紫波病院が福祉連携モデル病院として、10月6日には大東病院が「リハビリ」機能をもつ病院の整備に、それぞれ着手した。



▲初の長寿社会健康と福祉のまつり

# 6

## 教育振興の拠点・総合教育センター誕生、初の学系制・不來方高校の開校、時代のニーズに対応した県立高校の再編成が進むなど人材育成に大きな弾み

矢巾町に建設を進めていた県立不來方高校が4月10日開校した。本県では初の学系制を導入し、人文学系、理数学系、芸術学系、外国語学系、体育学系の5学系の構成となっている。生徒が学系の枠を超えて履修できる総合選択制を採用している県内では全く新しい型の高校がスタートした。

4月13日大船渡市・福祉の里に県立気仙養護学校が開校。県内では13番目の養護学校となり、心身に障害をもつ子供たちの可能性を十分に伸ばす教育を目指す。

全国でもトップクラスの施設となる県立総合教育センターが、4月27日花巻市に開所した。教育振興の拠点として期待が大きい。このほか、県立杜陵高校に単位制導入や、県立花巻農業高校に農芸工学科の新設など、県立高校の再編計画を進めている。



▲教育振興の拠点・総合教育センター

# 7

## 高度技能技術専門学校建設着工などテクノポリス計画整備進み、企業誘致ハイペース、高度技術化さらに前進

北上川流域テクノポリス計画がスタートして1年。計画に基づく整備が着々と進められている。7月21日、水沢市に高度技能技術専門学校（テクニシャンカレッジ・仮称）の建設が始まった。専門校の設置は中小企業など産業界から期待されている高度技能技術者の養成を目的にしたもので、65年4月の開校を予定している。

県内の企業誘致は32社（12月7日現在）が立地決定し、前年度同期の12社を大きく上回るペースで推移している。これまで過去最高は32社（59年度）。業種別では、全体として電気、精密機械など先端技術関連の誘致が進んでいる。



▲工業団地を中心に企業誘致が進む

# 8

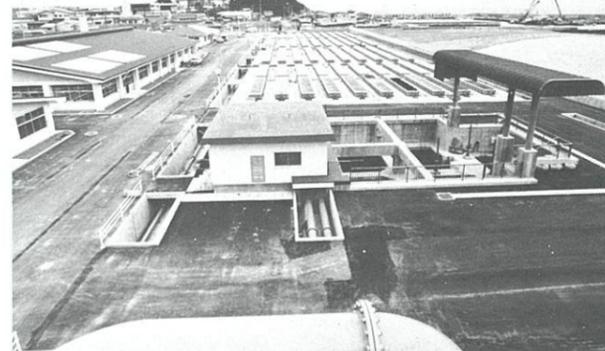
## 海洋バイオ研究開発、さんりく・リアス・リゾート構想推進、漁村・漁港の活性化計画策定、北部栽培漁業センター本格操業など三陸振興にインパクト

「さんりく・リアス・リゾート」基地整備に向けた基本構想づくりが進んでいる。

この基地整備は、国の総合保養地域整備法等に基づく地域指定を目指しているもので、釜石、大船渡、陸前高田、三陸、住田の5市町と遠野、大槌の両市町の一部を合わせた約17万3,000㎡が対象。県では、6月10日国に基礎調査書を提出、11月9日に国土庁など関係省庁が基本構想策定を承認した。

3月24日県海洋バイオテクノロジー推進協議会が発足し、釜石市に計画されている日本初の「鉱工業海洋生物利用技術研究センター」の建設促進と協力体制を強化している。

種市町、大槌町を重点にして地域活性化漁村・漁場緊急整備プロジェクト事業を展開。また、第8次漁港整備や第3次沿岸漁場整備開発の計画がスタートした。4月28日種市町に県北部栽培漁業センターが落成し、ウニ種苗生産に取り組んでいる。



▲操業が本格化している北部栽培漁業センター

# 9

## ブラジル県人会30周年迎える。外国青年県内各地で活躍、県国際交流室設置など国際交流が活発化

10月23日、ブラジル県人会の創立30周年記念式典がサンパウロ市で行われ、知事をはじめ各界から85人が訪伯し交流を深めた。

外国語教育の充実と地域での国際交流を進めるために、県と市町村が招致している外国青年は県内で58人。生徒をはじめ地域の人々との交流の輪が広がっている。

県では、4月1日国際交流を一層推進するため県庁に国際交流室を設置。留学生や技術研修生の受け入れなど、地域レベルでの国際交流を積極的に展開してきた。

旅行者の旅券申請も大幅に増えているなど、県民の国際化への関心が高まっている。



▲パメラ先生の授業・花巻市立湯口中学校

# 10

## 国産材時代に向け、木材流通加工工場、台形集成材加工工場が完成するなど地域林業づくり本格化

21世紀は国産材の時代といわれている。しかし、外国材の輸入などで林業経営は厳しいものとなっている。このような状況の中で、「気仙地域木材流通加工工場」が、3月26日陸前高田市にオープンした。林野庁の「国産材供給体制整備事業」で整備されたもの。これまでに、国産材需要開発センター「杉の家はこね」が整備されている。ともに「気仙スギ」の需要拡大を目指す拠点施設。

11月28日「九戸村森林組合台形集成材加工工場」が九戸村に完成した。岩手の県木ともなっている南部アカマツやカラマツなどの間伐材を利用して集成材加工する施設。間伐材の付加価値を高め需要拡大を目指す。

両施設は地域林業づくりの新しい話題として注目され、大きな期待を担ったスタートとなった。



▲気仙スギ製品を出荷する

# いろいろなことがありました'88県政

- 1・1 穏やかな晴天に恵まれた元日。岩手1988年がスタート
- 1・11 第6回いわて少年の船が479人の団員を乗せ横浜港から出航
- 1・11 中国山西省太原市人民対外友好協会一行が来県
- 1・11 腎臓病専門委員会が発足
- 1・13 第8回岩手青年の船が総勢409人参加して久慈港から航海へ旅立つ



- 1・14 県営彦部地区土地改良総合整備事業起工式
- 1・18 県障害者対策推進会議開催
- 1・22 大船渡で気温16.8度。1月観測史上最高を記録
- 1・29 第7回岩手婦人の船一行414人宮古港から交流の旅へ



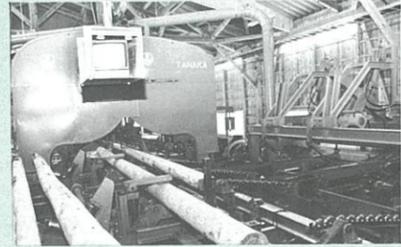
- 1・31 岩手雪まつりが規模を縮小して開催。暖冬、少雪の影響
- 2・1 電光式広告塔が完成。ハイテク広告塔で県政広報の充実を図る
- 2・4 大阪で岩手の物産と観光展開催。「盛岡五輪」もPR
- 2・5 プロゴルファー日蔭温子さん(岩手町出身)が来県。農作業事故防止ポスターで安全を呼び掛け
- 2・5 県と宮古漁協が宮古港湾整備で漁業補償覚書に調印
- 2・8 63年度県予算案決まる。総額は5,297億円の積極型予算
- 2・10 県企業立地セミナーを名古屋で開催。参加121社に立地条件PR

- 2・12 県特定地域中小企業振興対策協議会が宮古地域振興の基本方向として「サーモンランド構想」を柱にした計画を決定
- 2・13 政府税制調査会が宮守村で公聴会を開く
- 2・14 東京国際マラソンで本県出身の仙内勇選手が健闘し6位
- 2・14 世界アルペン誘致PRをカルガリーで展開
- 2・19 2月定例県議会が開会(〜3・22)
- 2・21 盛岡で冬季五輪招致カーニバルが開かれ、支援団体など500人が参加し夢の実現願う
- 2・23 岩手あしろ国体が開幕。冬季国体史上初めて全都道府県参加。礼宮殿下ご臨席のもと熱戦を繰り広げ岩手県は総合5位に躍進



- 2・25 新岩手県総合発展計画の後期実施計画(63〜65年度)を発表。新規重点事業27事業、費用1兆1,806億円の計画推進
- 2・26 皇太子・浩宮両殿下がスキー旅行のため来県
- 2・29 高校生海外派遣団一行23人が米国オクラホマ州タルサ市へ出発
- 3・3 東京で「大いわて展」開催。県内から87業者が参加。日本橋の高島屋は連日盛況(〜3・8)
- 3・10 東北インテリジェント・コスモス構想協議会が発足。産学官が連携し高度情報の基盤整備
- 3・10 インド大使が県庁を訪問
- 3・10 第1回ふるさと食品コンクールで「もりおか冷麺」が最優秀賞
- 3・14 全日本スキー選手権のノルディック20キロで土谷美保子選手(リクルート)優勝
- 3・24 県国際交流推進懇談会が交流協会設立など6項目を提言
- 3・24 県海洋バイオテクノロジー推進

- 協議会が発足
- 3・26 気仙地域木材流通加工工場が陸前高田市にオープン



- 3・26 葛根田ブナ原生林を環境庁が保全調査
- 3・26 中国山西省太原市の技術研修生10人が本県を視察
- 3・28 県費留学生・海外技術研修員の8人が研修を終了。岩手で研修を糧に祖国の発展に意欲
- 3・30 世界アルペンスキー調査団が候補地「盛岡・雫石」を調査。雫石スキー場は国際的に十分通用すると太鼓判
- 3・30 三陸鉄道4年連続の黒字決算



- 3・31 62年度の誘致企業は24社。61年度を2社上回る
- 4・1 県国際交流室を設置
- 4・1 沢内村雪国研究所オープン
- 4・1 漁業取締事務所大船渡分室開設
- 4・4 海外移住者子弟内地留学生の摂待琴江さんらが県庁を訪問
- 4・5 小本漁港水門竣工式
- 4・10 県立不来方高校開校式
- 4・11 国民文化祭の68年度開催が内定
- 4・11 民話の里・遠野市が第3回美しい都市づくり賞の大賞に輝く
- 4・13 JOC調査団が冬季五輪候補地盛岡を現地調査
- 4・13 大船渡市・福祉の里に県立気仙養護学校開校。児童・生徒40人が入学



- 4・13 県バイオ研究センターが金ケ崎町県立農業短期大学校に開所
- 4・16 県衛生研究所に放射能測定室が完成
- 4・17 大型放射光施設・航空宇宙産業基地の誘致へ本格始動
- 4・20 胆沢ダム工事事務所が開所
- 4・23 緑の羽根募金始まる
- 4・24 山田町に「マリンパーク山田」が完成。沿岸地域レジャーゾーンの目玉に



- 4・25 県庁前に鯉のぼり。コイ、来い五輪と掲揚式
- 4・25 北上京遷都論講演会開催。関心高く約650人が参加
- 4・26 いわて社会保険センターが落成
- 4・27 県立総合教育センターが開所
- 4・28 県北部栽培漁業センターが完成
- 4・29 インポートバザールいわて輸入博が開幕
- 5・3 建設省が盛岡市など全国20都市を「都市景観形成モデル都市」に指定
- 5・4 五輪招致へ希望の継走スタート



- 5・8 「世界にとどけ雪銀河東京大キャンペーン」は約3,500人が参加し県民の熱意最高潮
- 5・10 日赤県支部創立100周年記念大会開催。寛仁親王妃殿下をお迎えし約2,000人が参加
- 5・12 バイテク種苗増殖農場が浄法寺営農高等学園跡地に開所
- 5・12 国道397号種山地区の赤金トン

- ネルが開通
- 5・13 本州サケマス増殖振興全国大会が花巻市で開催
- 5・16 県計量検定所落成式
- 5・17 63年度初の誘致企業立地4社が決定。一関など4市町村に
- 5・21 全国初の「県長寿社会振興財団」がスタート
- 5・25 浅野七之助さん(日米時事新聞社名誉会長)ら6氏を県政功労者表彰



- 5・28 第58回全日本アマチュアボクシング選手権大会が釜石市で開催され、本県出身の瀬川、三浦両選手が優勝。ソウルオリンピック代表に
- 5・29 宮守村で岩手県植樹祭開催
- 6・1 1998年冬季オリンピック国内候補地は長野市に決定
- 6・1 種山トンネルが貫通
- 6・3 63年度第1回目の県政懇談会を軽米町(二戸広域生活圏対象)で開催



- 6・10 「さんりく・リアス・リゾート」基礎調査書を国土庁に提出。年度内に総合保養地域整備指定法の指定目指す
- 6・11 1993年アルペンスキー世界選手権大会開催地に「盛岡・雫石」が決定
- 6・13 三陸鉄道が北リアス線で初のプライダル・トレイン「寿号」を運行



- 6・15 戦後最高の95頭が参加して恒例のチャグチャグ馬コパレード
- 6・15 水稻の生育遅れ気味。日照不足で分けつが停滞
- 6・17 県政懇談会を和賀町(岩手中部広域生活圏対象)で開催
- 6・18 岩手医大創立60周年記念式典
- 6・19 牛肉・オレンジの輸入自由化65年4月からの実施決まる
- 6・21 県高齢者総合相談センター開所式。お年寄りや家族が抱えている福祉、医療などの悩みに常駐の相談員などがこたえるもの
- 6・21 東北横断自動車道秋田線の湯田インターを大渡地区建設と発表
- 6・22 県政懇談会を田老町(宮古広域生活圏対象)で開催
- 6・23 「陸中海岸の観光振興」をテーマに県政懇談会を宮古市で開催
- 6・27 米国タルサ市の高校生14人来県



- 6・28 東北インテリジェント・コスモス県協議会が金ケ崎町の岩手中部工業団地に大型放射光研究施設誘致を決議
- 6・30 6月定例県議会が開会(〜7・11)
- 6・30 県立紫波病院起工式
- 7・1 アルペンスキー世界選手権大会推進室を県庁内に開設。大会会場となる雫石町でも準備推進事務局が発足
- 7・1 県高齢者総合相談センター(シルバー110番)業務開始
- 7・2 地域の活性化をホンネで語り合う第1回公開シンポジウム「まちづくり演奏会」が遠野市で開催された。県内外から250人参加
- 7・4 県南自動車運転免許センター(金ケ崎町)が業務を開始
- 7・8 本県初の「ふるさと自然公園」整備事業計画を環境庁が承認。対象地域は室根高原。67年度を目標に整備推進
- 7・8 米価審議会が生産者米価4.6%の2年連続下げを答申
- 7・12 県政懇談会を陸前高田市(気仙広域生活圏対象)で開催
- 7・13 県の企業誘致ハイペース。前年同期約2倍の11社が決定
- 7・14 県と県議会が政府予算統一要望

世界アルペン、放射光施設など  
76項目に陳情を展開



7・19 「知事と一緒に市場を視察する  
会」が東京・神田市場を視察。  
評価高い県産野菜をPR



7・20 水産庁がマリノベーション構想  
の推進で釜石地域を決定。栽培  
漁業や水産物の流通基地づくり  
を中心に地域振興を図る

7・21 社団法人ポニースクール岩手が  
設立

7・21 高度技能技術専門校建設始まる

7・25 短期大学整備懇談会の報告を受  
け、新県立短大を宮古市設置の  
方針決定。65年度開校を目指す

7・25 県営武道館大道場・柔剣道場工  
事始まる。完成は65年度予定

7・26 第70回全国高校野球選手権大会  
県大会で県立高田高校が初優勝

7・27 県政懇談会を釜石市（釜石広域  
生活圏対象）で開催

7・28 「漁港・漁村の活性化」をテー  
マに県政懇談会を大槌町で開催

7・30 日本母親大会が盛岡市で開催

7・30 村上武岩手県出納長が辞任

8・1 盛岡・宮古間ヘリコプター  
実験運航始まる（～17日）



8・1 65年1月開催の第44回スケート  
国体の県実行委員会が発足

8・2 夏を彩る「さんさ踊り、期間中  
延べ85万人の人出は過去最高

8・2 第10回全国スポーツ少年団ホッ  
ケー交流大会で、南山形小学校

（岩手町）男子チームが初優勝。

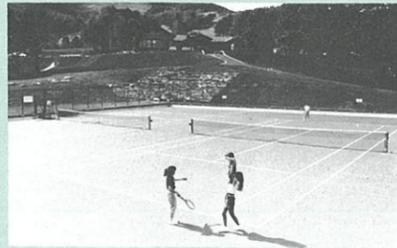
12日には南山形ママさんチーム  
が、第16回全日本家庭婦人ホッ  
ケー大会で6度目の栄冠に輝く

8・3 高校総体5000円で熊谷勝仁選手  
（専大北上）優勝

8・4 臨時県議会開会

8・5 県政懇談会を久慈市（久慈広域  
生活圏対象）で開催

8・6 リフレッシュふるさと村竣工式  
国土庁の過疎地域振興策の一つ  
で、山形村が地域指定を受けて  
いたもの。平庭高原を中心とし  
て宿泊研修施設などが完成



8・6 第22回全国障害者問題研究会が  
盛岡で開かれた。地方都市では  
初の開催に関係者やボランティ  
アが大活躍し手づくりの全国大  
会成功

8・6 釜石市和山フェスティバル開催

8・8 14人の英語指導助手に辞令。外  
国語教育充実と国際交流に一役

8・10 県政懇談会を水沢市（胆江広域  
生活圏対象）で開催

8・14 県社会福祉協議会などが編集し  
た「FREE WALKハンディマッ  
プいわて」が完成。ボランティ  
アや障害者自らが参加して制作  
した「手づくりガイドブック」

8・28 県土襲う集中豪雨。被害総額は  
350億円を越す

8・30 岩手りんどうキャンペーンを東  
京、大阪、名古屋で展開（～31日）

8・31 水沢市の常盤町遺跡から発見  
された水田跡は、構築年代を平  
安中期のものとして発表



8・31 県政懇談会を平泉町（両磐広域  
生活圏対象）で開催

8・31 整備新幹線の着工順位決まる。  
「盛岡～青森」は3番目

9・2 米軍三沢基地のF16戦闘機が川

井村山中に墜落

9・2 ハンネス氏（ザールバハ世界  
アルペン事務局長）来県。アル  
ペン開催を機に岩手と友好を

9・2 「野菜作経営の方向」をテー  
マに県政懇談会を遠野市で開催



9・3 国際化時代の日本外交と地域社  
会の在り方を探る「ミニ外務省」  
を盛岡市で開催

9・3 花巻市内7農協合併予備調印式

9・6 「国際理解教育の推進」をテー  
マに県政懇談会を西根町で開催

9・7 第11回岩手婦人のつどい開催

9・12 トヨタ自動車が釜石港からの陸  
揚げを64年秋から実施と発表



9・12 北東北地域活性化シンポジウム  
を盛岡市で開催

9・12 県医療審議会が県立北上病院の  
増床計画などを承認。宮古病院  
は来年2月着工

9・13 参議院災害対策特別委員会が金  
ケ崎、一関地域の被害状況視察

9・15 全国精神薄弱施設職員研究大  
会を盛岡市で開催

9・15 「敬老の日」。知事が山岸和敬  
（盛岡市）を慰問。県内長寿者  
は104歳をトップに100歳以上が  
19人



9・15 県競馬組合設立25周年記念式典

9・16 「誘致企業からみた商工業の課  
題」をテーマに県政懇談会を北  
上市で開催

9・16 台風18号の影響で県沿岸部を中

心に被害相次ぐ

9・16 農林作物異常気象対策本部設置

9・18 県老人スポーツ大会開催



9・19 三陸鉄道の6～8月営業成績は  
開業以来の最低。冷夏が響く

9・20 国際スキー連盟（FIS）キャ  
スパー事務総長が来県。雫石ス  
キー場などを視察

9・20 県異常気象災害対策本部が水稲  
被害の雫石町などを視察

9・21 県政懇談会を雫石町（盛岡広域  
生活圏対象）で開催

9・22 9月定例県議会が開会（～10・7）

9・26 岩手県東北新幹線建設促進期成  
同盟会の理事会開催。早期着工  
へ総力を結集

9・27 岩手の県民運動推進協議会が募  
集した初のふるさとづくり賞に  
南山形ホッケー少年団など7団  
体決まる

9・27 農林水産省調査団が水稲被害の  
雫石町などを視察

10・1 第42回岩手芸術祭開幕

10・1 県企業局施設総合管理所開設

10・3 日本道路公団仙台北建設局が東北  
横断自動車道秋田線（和賀一湯  
田間）の路線発表

10・4 林木育種場開設20周年記念式典

10・5 県立高校再編計画まとまる。雫  
石高校に「国際教養科」など11  
学科1コースを新設

10・6 東京で行われた工場適地フェア  
「エレクトロニクスショー'88」  
で、県が工場適地コーナーを開  
設。攻めの企業誘致を展開

10・6 「特産品」をテーマに岩手の地  
域づくりを考えるシンポジウム  
を盛岡市で開催

10・6 国際協力の日を記念した国際協  
力セミナー開催



10・11 県水産試験場サンマ人工飼育  
100日の最長記録達成

10・12 参議院災害対策特別委員会調査  
団が農作物被害を調査

10・13 入畑発電所（和賀町）起工式。  
65年4月運転開始に向けて着工

10・13 宮古市公共下水道通水式

10・14 「知事と一緒に市場を視察する  
会」が東京・築地市場でリンゴ  
の状況を視察

10・15 水稲作況指数87（著しい不良）  
になる

10・15 全国青果卸売市場協会創立30周  
年記念式典が花巻市で開催

10・16 交通事故の死者100人を越す

10・17 知事がブラジル県人会創立30周  
年記念式典出席のため出発（～  
11・3）

10・17 英国外務省グレン・アーサー閣  
外大臣が来県。雫石町の農家な  
どを視察

10・19 三陸縦貫自動車道・大船渡市一  
三陸町間の新三陸トンネル貫通

10・19 一関市に県営真湯砂防ダム完成

10・20 東北地域産業視察ツアーで外資  
系企業が県内の工業団地を視察

10・20 京都国体ボクシングで瀬川設男  
選手（拓大）優勝。本県勢総合  
29位

10・21 第17回躍進いわての産業まつり  
を一関市で開催

10・11 県水産試験場サンマ人工飼育  
100日の最長記録達成

10・12 参議院災害対策特別委員会調査  
団が農作物被害を調査

10・13 入畑発電所（和賀町）起工式。  
65年4月運転開始に向けて着工

10・13 宮古市公共下水道通水式

10・14 「知事と一緒に市場を視察する  
会」が東京・築地市場でリンゴ  
の状況を視察

10・15 水稲作況指数87（著しい不良）  
になる

10・15 全国青果卸売市場協会創立30周  
年記念式典が花巻市で開催

10・16 交通事故の死者100人を越す

10・17 知事がブラジル県人会創立30周  
年記念式典出席のため出発（～  
11・3）

10・17 英国外務省グレン・アーサー閣  
外大臣が来県。雫石町の農家な  
どを視察

10・19 三陸縦貫自動車道・大船渡市一  
三陸町間の新三陸トンネル貫通

10・19 一関市に県営真湯砂防ダム完成

10・20 東北地域産業視察ツアーで外資  
系企業が県内の工業団地を視察

10・20 京都国体ボクシングで瀬川設男  
選手（拓大）優勝。本県勢総合  
29位

10・21 第17回躍進いわての産業まつり  
を一関市で開催



10・21 第16回岩手農業祭開幕

10・21 「風土とフードのつどい」第16  
回岩手の県民運動推進大会を陸  
前高田市で開催

10・21 第9回岩手青年の船全体事前研  
修が国立岩手山青年の家で始ま  
る。来年1月14日からの洋上研  
修に向け実質的な研修スタート

10・23 全日本女子柔道選手権大会66キ  
ロ級で阿部由記子選手（釜石南高）  
が初優勝

10・23 初の県民長寿体育祭開催

10・29 佐藤農林水産大臣が金ケ崎町の  
大雨による被災地を視察

10・30 第2回全国勤労者釜石駅伝開  
催。全国から32チーム参加、県  
勢は4位の健闘

11・1 企業情報を収集、提供する岩手

産業情報センターが業務開始

11・1 パーキングチケット（有料駐車  
帯）制度が盛岡市で始まる

11・3 香港で岩手の物産と観光展開催

11・4 県内初の献血ルームが盛岡市中  
央通・北斗ビルにオープン

11・4 農村アメニティコンクールで大  
迫町産業振興協会が優秀賞受賞

11・8 シンガポールで岩手の物産と観  
光展開催

11・9 現代の名工（国の卓越技能者）  
に南部鉄器の長沼市郎さん（盛  
岡市）。県卓越技能者にはホム  
スパンの蟻川ハレさんら6人

11・9 「さんりく・リアス・リゾート」  
基礎調査を国の関係省庁が承  
認。基本構想策定へ

11・10 盛岡西バイパス起工式。雫石川  
橋架設など4.7キロ工事に着手

11・11 県内が雪化粧。昨年より21日も  
早く盛岡で初積雪

11・12 故国分謙吉翁の顕彰像を、ゆか  
りの地、大迫町に建立

11・12 盛岡大学移転をめぐる贈収賄事  
件で県警が県庁捜索

11・14 落合ダム（大迫町）損失補償調  
印式

11・15 花巻空港からプログラムチャ  
ーター便出発。ソウルへ初の直行  
便飛ぶ

11・18 盛岡大学移転をめぐる贈収賄事  
件で県警が2度目の県庁捜索。  
前岩手県出納長を逮捕

11・23 西根町農協野菜部会が第27回農  
林水産祭園芸部門で天皇杯を受  
賞

11・24 県政モニター懇談会開催



11・25 12月定例県議会が開会（～12・  
14）

11・28 九戸村の台形集成材加工場完成

12・1 県内初の老人保健施設が盛岡  
市、東山町にオープン

12・16 県と県議会が64年度政府予算統  
一要望で国の関係省庁に陳情を  
展開

12・25 花巻～大阪空港間を結ぶジェッ  
ト便が、1往復増便されフライト  
トする